患者様用　　資料④

予約日時　　年　　月　　日

診療科　放射線科　　依頼医師　　宮坂　健司

ID　　氏名　　様

アミロイドPET検査説明書

アミロイドPET検査について

この検査は、放射性同位元素という目印を付けた検査薬を使い、脳内のアミロイドベータプラークを画像化する検査です。認知症の原因疾患のひとつであるアルツハイマー病の診断に役立ちます。

検査を受けるにあたり、以下の注意事項をご確認ください。

【該当する方はあらかじめ医師にお知らせください】
- ・アルコールに対して過敏症のある方
  薬にアルコール成分が含まれます。アルコール過敏症の方は検査を行うことができません。
  例）ショック
  アナフィラキシー様症状（呼吸困難、全身潮紅、顔面浮腫、喉頭浮腫、じんましん）等
  ※お酒が飲めない、弱い等であれは検査可能です。
- ・妊娠中または妊娠している可能性がある女性
- ・授乳中の女性
- ・乳幼児がいる方
- ・閉所恐怖症の方

■飲食の制限はありません。

■検査前や検査中は、安静にしてください。

■介助の必要な方は、検査の間、家族の付き添いが必要です。

車イスの方や転倒しやすい方も付き添いが必要です。

■検査当日、都合が悪くなった場合、早急にご連絡をお願いします。

広島西医療センター　地域医療連携室　0827-57-7183　内線(2140)

【検査当日持参するもの】
- ・紹介状
- ・診療予約券
- ・アミロイドPET検査同意書
- ・マイナンバーカード(健康保険証も可)
- ・診察券(ある方)

【検査前の準備】
- ・検査前日から激しい運動は控えてください。
- ・飲食の制限はありません。
- ・普段服用されているお薬は内服していただいて構いません。

【来院について】
- ・検査で使用する薬には、アルコール成分が含まれています。アルコールに弱い方は、車、バイク、自転車を運転しての来院はできるだけお控えください。
- ・検査で使用する薬のアルコール成分量は微量であり、道路交通法における飲酒運転の罰則等で定められた値を超えることはありません。

患者様用

【検査当日の流れ(検査終了まで約2時間30分)】

1. 受付
   検査予約時刻の20分前までに、玄関ホールの外来受付①番窓口にて受付を済ませてください。
   職員が放射線科受付へご案内します。その後、検査担当者がPET検査室へご案内します。
2. 更衣
   待機回復室にて検査着へ着替えます。
3. 注射
   検査薬を注射します。
4. 安静待機
   待機回復室にて、撮影開始まで安静に過ごします(約1時間)。
5. 撮影
   約30分かかります。同じ姿勢で動かないようにします。
6. 会計
   会計窓口(3番)で支払いを済ませて終了です。

【検査後】

・検査で薬(放射性医薬品)を使用したため、体から微量の放射線が発生しています。
時間の経過とともに放射線はなくなりますが、検査終了後2時間はできるだけ人込みを避けてください。特に、妊娠中の方や10歳未満のお子さまとの接触はできるだけ避けてください。また、授乳中の方は検査終了後24時間の授乳を控えてください。

【検査結果】

・当院での結果説明はありません。結果については、約1週間で紹介元の医療機関に郵送します。
連休の場合、結果郵送までに時間がかかることがあります。

【検査費用】

・負担3割の方:約4万5千円 / 負担2割の方:約3万円 / 負担1割の方:約1万5千円

【お薬の副作用】

・検査で使用する薬は、国内において重篤な副作用の報告はなく安全性が高いと考えられています。副作用が発生した場合でも、速やかに対応させていただきます。
報告されている副作用
- ■1～5%未満　:　潮紅、血圧上昇、悪心、胸部不快感
- ■0．5～1%未満　:　頭痛、浮動性めまい
- ■0．2%　:　アナフィラキシー

【キャンセルについて】

・キャンセルの連絡は、検査前日(休日を除く)午後3時までに、地域医療連携室までお願いします。
<u>連絡なく来院されなかった場合、検査費用を負担していただきます。</u>
広島西医療センター　地域医療連携室　0827-57-7183　内線(2140)

【ご了承いただきたいこと】

・検査で使用する薬は、検査当日に検査時刻に合わせて岡山県から配送されます。
道路状況または天候により検査開始が遅れたり、検査ができなくなる場合があります。
・検査機器のトラブルにより、検査ができなくなる場合があります。
・検査予約時間より遅れて来院されると、検査できない場合があります。
・副作用や偶発的な症状に対して、診察・処置・投薬が必要になった場合、保険診療で対応させていただきます。あらかじめご了承ください。

【検査の適切な実施に際して】

・当院では、日本核医学会、日本神経学会、日本神経治療学会、日本精神神経学会、日本認知症学会、日本老年学会、日本老年精神医学会(50音順)が合同で定める、「アミロイドPETイメージング剤の適正使用ガイドライン」を遵守した検査を実施します。
・当院では、「PET撮像施設認証」を取得しており、厳格な基準の下で検査を実施しています。

検査についての質問や都合の悪くなられた場合は下記までご連絡をお願いします。

患者様用

診療用放射線による影響について
（診療用放射線の安全利用に関する説明書）

放射線を用いた検査を受けるにあたって

検査で使用される放射線の量は少なく、健康への影響はほとんどありません。
安心して検査を受けていただくために放射線の特性について説明します。

1.　この検査により想定される被ばく線量と影響について

放射線による影響には、発がんと身体的な影響（皮膚紅斑、脱毛、不妊など）があります。

【発がん】

疫学調査の結果、1度の被ばく線量が100ミリシーベルトを超えると発がんリスクが高まるが、100ミリシーベルト以下では明確なリスク上昇を確認できないとされています。
人体には放射線による影響に対する修復機能があるため、複数回のX線検査を受けた場合でも、放射線の影響が全て蓄積するわけではありません。

【身体的な影響】

ある線量（しきい値）を越えると身体的な影響が生じる場合がありますが、この検査により受ける被ばく線量は、しきい値よりもはるかに少ないため身体的な影響が現れることはありません。

※しきい値の例

- ■皮膚紅斑　：　2,000ミリグレイ
- ■脱毛　：　3,000ミリグレイ
- ■不妊　：　2,500～3,500ミリグレイ

ミリシーベルト　：　放射線によってどれだけ人体に影響をおよぼすかを数値化した単位
ミリグレイ　：　放射線のエネルギーが物質にどれだけ吸収されたかを表す単位

1グレイのX線が全身に均等に吸収された場合の被ばく線量は、1シーベルトになります。
身体の一部分のみ吸収された場合、比較的高い放射線量でも体への影響は少なくなります。
日本の自然放射線（宇宙、大地、食物等から）：年間2.1ミリシーベルト

本検査で想定される被ばく線量は以下の通りです。

検査薬による被ばく線量	CTによる被ばく線量	合計被ばく線量
5ミリシーベルト	3ミリシーベルト	8ミリシーベルト

被ばく線量は理論値であり、実際の検査時間や患者様の体格により変動します。

2.　この検査の必要性について

病気の発見・治療、経過観察には放射線を用いた検査が必要となります。医師は検査による被ばくのリスクと、病気の発見や治療によるベネフィットを比較し、放射線検査が必要であると判断した場合のみ検査を行います。
不安がありましたら医師にお尋ねください。

3.　当院で実施している医療被ばくの低減に関する取り組みについて

関連学会等のガイドラインに準じ、適切な放射線量を用いて検査を行っています。
検査によって受けた放射線量を記録・管理しています。
関連する全職員に対し、定期的に医療放射線に関する研修を行っています。

放射線を用いた検査の必要性、影響について納得された上で別紙同意書にご署名ください。

独立行政法人国立病院機構　広島西医療センター　地域医療連携室　0827-57-7183　内線(2140)